

男女共同参画情報「パレット」

男女共同参画週間

■人権・男女共同参画課 電話 (27) 2354

6月23日(木)～29日(水)



意識をカイカク。
男女でサンカク。
社会をヘンカク。

時田心太郎さん(東京都)
平成28年度男女共同参画週間キャッチフレーズ



昨年度のパネル展開催の様子

■みんなで考えよう! 「男女共同参画」

女性と男性がともに、職場や地域、家庭などで、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」を作るには、日頃から一人ひとりの取組が必要です。6月23日から29日まで「男女共同参画週間」のこの機会に、一緒に考えてみましょう。

- 職場では・・・性別に関わらず、一人ひとりの能力が十分に発揮できる環境を整えましょう
- 地域では・・・地域活動に誰もが積極的に参加しましょう
- 家庭では・・・家事や育児、介護は家族みんなで協力しましょう



《データでみる「男女共同参画」》

表1は、佐野市における男女の平等についてのアンケート結果です。

平成24年度と比べ、「男性の方が優遇されている」が増加し、男女「平等」が減少しています。

まだまだ男女の地位について平等とは思われていないのが現状です。

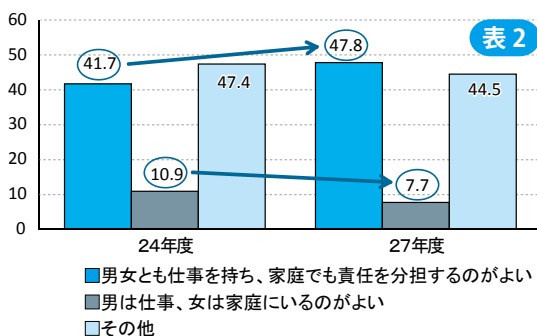
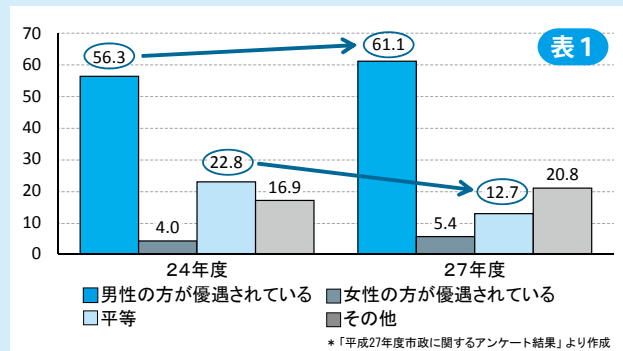


表2は、佐野市における男女の役割分担意識についてのアンケート結果です。

平成24年度に比べ、「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が増加し、「男は仕事、女は家庭にいるのがよい」が減少しています。

男は仕事、女は家庭という性別による役割分担から、役割分担せず男女で家事分担をし、仕事もするという考え方に変わってきているようです。



表3は、「子供の出生年別第1子出産前後の妻の就業経歴」について統計をとったものです。仕事をしていた女性の約6割が出産を機に離職しており、仕事と子育ての両立のための環境整備が必要だと考えられます。

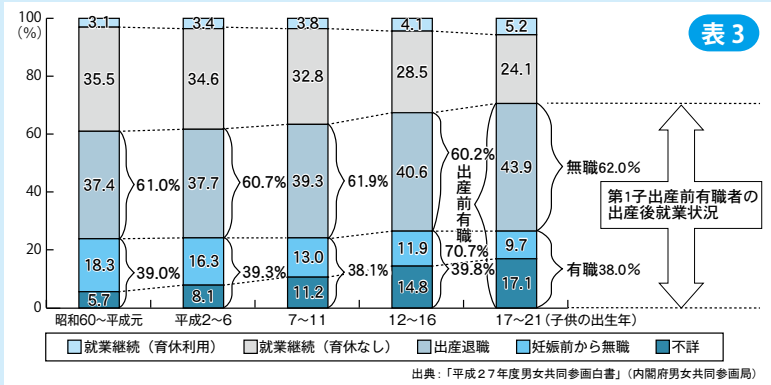


表4 6歳未満児をもつ夫婦の家事・育児時間の国際比較

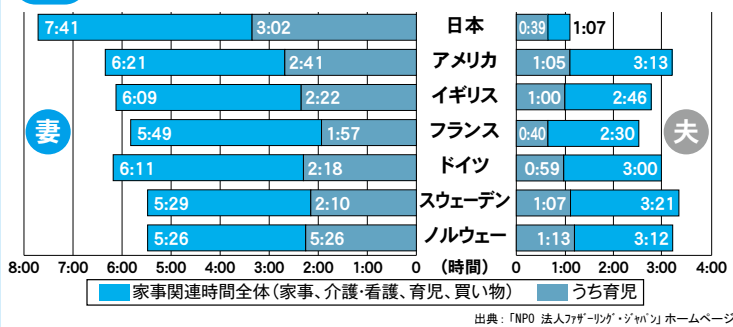


表4は、「6歳未満児をもつ夫婦の家事・育児時間の国際比較」をしたものです。欧米諸国に比べ日本は、夫の家事に費やす時間が短く、さらに育児に係る時間は、わずか39分となっています。男性にとってもライフステージでの育児参加は重要です。

「男女共同参画」について
社会全体で取組みましょう!

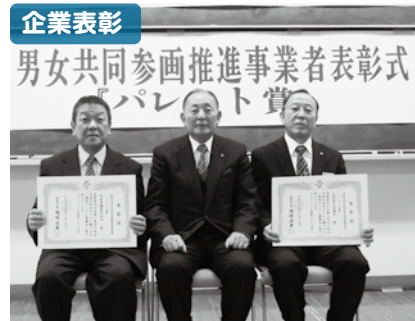
《 佐野市では、様々な事業に取り組んでいます 》



昨年度の「女性の再就職セミナー」の様子



昨年度の「パパのためのベビーマッサージ」講座の様子



第1回男女共同参画推進事業者表彰「パレット賞」授賞式

■ 303万人とは、何の数字？

働く場面において、女性は結婚・出産・子育て期にいったん仕事をやめて、その後再就職するという状況が依然と続いています。その中でも仕事をしたいが、子育て等の理由で働いていない女性が303万人にのぼります。(「平成27年度版男女共同参画白書」より) このように働きたいけど働けない女性や、ステップアップをしたい女性などが個性と能力を十分に発揮できる社会をめざし、4月に「女性活躍推進法」を施行しました。今後働く女性だけでなく、男性にとっても、多様な生き方や働き方が実現できる社会を目指し動き出すこととなります。

「パレットプラザさの」の講座に参加しませんか？

♪ パパのためのベビーマッサージ
講師: 高橋晴美さん(助産師)

- ・6/19・26(日) 10:30~12:00
- ・生後2か月からハイハイまでの赤ちゃんと同親で2回とも参加できる方(先着10組)



♪ インド人によるエクササイズ&ヨガ
講師: レイカ・ダドウェルさん

- ・6/12(日) 10:00~11:30
- ・先着20人(無料)
- ・持ち物: ヨガマット、タオル、飲料水
- ※申込は人権・男女共同参画課まで
- ※どちらも定員になりしだい締切ります

